**日本家禽学会誌**

**論文投稿申込書**

**原稿の種類**（○印を付けて下さい）

日本家禽学会誌 ：（　）総説，（　）研究論文，（　）研究ノート，（　）技術報告，（　）解説・情報・資料

**研究分野**（○印を付けて下さい）

（　）遺伝・育種，（　）飼料・栄養，（　）解剖・組織，（　）繁殖，（　）生理，（　）行動

（　）環境・衛生，（　）畜産物利用・加工

**表題**　　英文：

和文：

**著者名**（全員）英文：

　　　　　　　和文：

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 原稿枚数 | 枚 |  |
| 図表枚数 | 枚 | [カラー印刷　（　）不要；（　）要] |
| 写真枚数 | 枚 | [カラー印刷　（　）不要；（　）要] |

**送付原稿**

**略表題**（和文で１５字以内）：

**キーワード**（英文，和文ともに６個以内）

　　　　　　英文：

　　　　　　和文：

**連絡先**　　住所（〒　　　　　　　）

　　　　　責任著者氏名

　　　　　電話　　　　　　　　　　　　    ＦＡＸ

　　　　  E-mail

**研究論文としての保証（研究論文，研究ノート）**

 この論文は，日本家禽学会誌への掲載可否が決定するまで，他の学術雑誌等に掲載されたこと，または投稿することはありません。

　 責任著者氏名：　　　　　　　　　　　　　　　（署名）

　 日　　　付:：

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

＜英文要旨＞

------------------------------------------------------------------------------------------

 ＜和文要旨＞

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

お願い

１．投稿の方法は学会ホームページ(http://jpn-psa.jp/toukou/）に掲載されています。

２．「投稿申込書」は学会ホームページからダウンロードして下さい。

３．論文原稿とともに投稿申込書をE-メールで日本家禽学会編集委員会（jpsa-s@naro.affrc.go.jp）までお送り下さい。

４．投稿して５日後までに論文受付のE-メールが届かない場合には編集委員会にお問い合わせください。

〒305-0901茨城県つくば市池の台２　農研機構　畜産研究部門　日本家禽学会編集委員会

**TEL & FAX：029-838-8777** E-メール：jpsa-s@naro.affrc.go.jp

***1ページ目***

（研究論文）

ニワトリの産卵成績と卵質に及ぼす脱塩濃縮梅酢の影響

伊丹哲哉１・香川高士１・細川　清2・吉村幸則3

1和歌山県農林水産総合技術センター畜産試験場養鶏研究所，和歌山県日高郡中津村船津　644-1111，２株式会社紀州ほそ川，和歌山県日高郡みなべ町晩稲　645-0022，３広島大学大学院生物圏科学研究科，東広島市鏡山　739-8528

略表題　脱塩濃縮梅酢添加と産卵性

連絡者　伊丹哲哉

　　　　〒644-1111

和歌山県日高郡中津村船津1090-1

　　　　Tel 0738-54-0144

　　　　Fax 0738-54-0966

　　　　Ｅmail itami\_t0001@pref.wakayama.lg.jp

***２ページ目***

各種の有機酸やアミノ酸，ミネラルが含まれる梅酢を脱塩し，真空濃縮した脱塩濃縮梅酢（BX70）および梅肉エキスを飼料に添加し，白色レグホン種産卵鶏の産卵性および卵質成績に及ぼす影響を検討した。試験区は， ----------

キーワード：ニワトリ，梅酢，産卵成績，卵質

第２ページに800字以内の要約と６個以内のキーワードを記載する。

***３ページ目以降***

緒言

梅は，古来より和漢民間薬として使用され，その果実には有機酸，ミネラルなどが含まれていることが知られている（亀岡と北側，1976）。主に食用とされる梅干（梅漬け）も同様で（金子ら，1989），青梅から生産される梅肉エキスにも有機酸，アミノ酸などの有用成分が含まれることが報告されている（中村，1995）。梅のアルコール漬け-----

材料と方法

１．供試鶏および管理

2002年3月19日に孵化した白色レグホン種産卵鶏（ジュリア）を初生ヒナで導入して育成し，70日齢で試験鶏舎に移動して-----

結果

BX70および梅肉エキスの分析結果を表１と２に示した。BX70および梅肉エキスともクエン酸とリンゴ酸が組成の４割強を占め，滴定酸度も高かった（表1）。-----。

アミノ酸組成に----210日齢と270日齢以外の全ての日齢で対照区より添加各区が高かった（図2）。卵殻厚，卵殻破壊------。

考察

有機酸は腸管粘膜に障害をもたらすことなく，腸内細菌を減少させることが知られている（Chaveerach *et al*., 2004）。また，クエン酸や---生体にとって有害なアンモニアの産生や微生物の代謝産物を低減させることが考えられている(Dibner and Buttin, 2002)。----

謝辞

　実験に使用した，梅肉エキスを提供して頂いた，宇都宮洋才博士（和歌山県立医科大学，和歌山市）には深謝致します。

引用文献

Lake PE, Stewart JM and Rojas SW. Preservation of fowl semen in liquid nitrogen - An improved method. British Poultry Science, 19: 187-194. 1978.

長野　實．家禽の経営管理．家禽学（奥村純一・藤原　昇編）．第１版．109-116頁. 朝倉書店．東京．2000．

岡野 香・山田太郎. 岐阜地鶏における初生時黄色綿毛・雌黄笹羽装について.　日本家禽学会誌，18: 328-334. 1981.

Simkiss K and Taylor TG. Shell formation. In: Physiology and Biochemistry of the Domestic Fowl (Bell DJ and Freeman BM eds.). Vol.3. pp.1331-1343. Academic Press. London. 1971.

引用文献リストは筆頭著者の姓のアルファベット順に配列し，同一筆頭著者の文献が複数の場合は発表順に，さらに同一年の場合は次の著者の姓のアルファベット順とする。

Improvement of Egg Laying Performance by the Demineralized and Condensed Ume　Vinegar in Hens

Tetsuya Itami1, Takashi Kagawa 1, Kiyoshi Hosokawa2 and Yukinori Yoshimura3

1Wakayama Prefecture Research Center of Agriculture, Poultry Farming Research Laboratory, Forestry, Fisheries and Livestock Experimental Station, Hidaka-gun, Wakayama-ken 644-1111; 2Kishu Hosokawa Co., Hidaka-gun, Wakayama-ken 645-0022; 3Graduate School of Biosphere Science, Hiroshima University, Higashi-Hiroshima 739-8528

Ume vinegar, a by-product of ume (a plum) food processing, may contain various organic acids, amino acids and minerals. The BX70 was---.

Key words: chicken, egg laying performance, egg quality, ume vinegar

表題，著者名，所属機関とその所在地，300語以内の抄文および６個以内のキーワードからなる英文抄録をつける。内容は論文の和文要約と同じ。